

## 俱知安町地域公共交通計画の見直しにむけた域内交通体系再編支援業務について

◎ 業務の目的

平成24年度から通年運行を開始したコミュニティバス「じゃがりん号」のほか、郊外部の交通不便解消のため令和3年度からデマンドバス「じゃがたく」の実証運行を行なっている。また、冬季観光客利用による域内交通需要の高まりと、その需要をカバーすべく観光バス整備やエリア限定タクシー「ニセコモデル」の取組みなども進められているが、一方では少子高齢化の進行等で、運転手不足や利用者が減少し路線バスの減回・減便・廃止が進み、自家用車での移動も困難となってきた町民からは利便性の高い交通手段を求める声もあり、町内交通のあり方に大きな影響を与えている

令和5年3月に策定され、計画期間が令和9年度末までとなっている「俱知安町地域公共交通計画」の見直しに向け、既存の交通リソースを活用し、定時定路線型・デマンド型にこだわらない域内交通体系の再編検討を進める。

◎ 業務期間

令和9年3月中旬まで

◎ 業務の概要(案)

## (1) 町内公共交通機関等の現状・課題等及びニーズの把握等

## ① コミュニティバス等の利用実態の把握・整理

路線・バス停別乗降者数、各日乗降報告書、乗継乗車券の利用状況、運行収支、交通リソースの現状ほか)の整理・分析

## ② アンケート調査

利用者アンケート調査、及び結果の集計・分析等

## (2) コミュニティバス等の現状改善策の検討

## ① 改善策の作成

## (3) 域内交通体系再編案の検討・作成

## ① 新たな域内交通体系再編案の作成(路線図、区域図等)

## ② ①達成に向けたロードマップの作成

◎ その他

## (1) 財源は国・町からの補助金を活用

## (2) 本事業成果を令和9年度に進める地域公共交通アップデート事業に繋げる